

令和 7 年度岩手県薬事審議会 会議録

1 日時

令和 7 年 7 月 14 日(月) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

2 場所

岩手県公会堂 2 階 26 号室

3 出席者

(1) 委員

畑澤 博巳 委員、小松 健悦 委員、内藤 隆 委員、菊地 秋子 委員、
磯田 朋子 委員、幅野 渉 委員、本間 博 委員、大黒 英貴 委員、
相馬 一二三 委員、滝村 敦子 委員

(欠席委員：高橋 慧 委員、梶田 佐知子 委員)

(2) 事務局

企画理事兼保健福祉部長 野原 勝、健康国保課総括課長 千葉 智貴、
薬務課長 千田 浩晋、主任主査 近藤 誠一、主任 小田 哲也、
技師 藤原 優八、技師 山崎 知之

4 会議の内容

(1) 開会

(2) あいさつ(野原企画理事兼保健福祉部長)

(3) 委員紹介

(4) 会長選出・副会長選出

委員の互選により、会長に幅野委員が、副会長に畑澤委員が、それぞれ選出された。

(5) 議事

ア 岩手県の薬事行政の概要について(資料 1)

[質疑・意見等]

○ (内藤委員)

登録販売者試験の合格者数は資料に示されているが、岩手県で販売従事登録を行っている人数も示してもらえればよいと思う。

○ (事務局)

次年度以降の資料に追加することとしたい。

○ (幅野委員)

登録販売者試験の合格者数が年々少しずつ減っている印象があるが、何か理由はあるか。

○ (事務局)

登録販売者試験が開始された頃は、各店舗に登録販売者を配置するために多くの方が受験し

ていたが、試験開始から年数が経過して登録販売者の人数も増加し、各店舗の登録販売者も段々と充足してきたため、受験者数が落ち着いてきた結果、合格者数も徐々に減少しているものと考えている。

イ 地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局の認定状況について（資料 2）

[質疑・意見等]

○ （畑澤委員）

専門医療機関連携薬局について、岩手県のホームページでは 6 月 30 日時点で岩手県は 2 件となっているが、4 月から 6 月までの間に増加したのか。

○ （事務局）

全国の数値が公表されている 4 月末時点で資料をお示ししており、4 月末時点では 1 件だったが、5 月に 1 件増加し合計 2 件となっている。

○ （畑澤委員）

法改正により、健康増進支援薬局の認定制度が設けられるが、現在の健康サポート薬局の制度から健康増進支援薬局の制度に変更する時期はいつ頃の予定か。

○ （事務局）

改正法の公布から 2 年以内の施行となっているが、まだ施行期日等は示されていない。

ウ 薬剤師確保について（資料 3～5）

[質疑・意見等]

○ （相馬委員）

人材の確保に関しては、看護師も同じ状況である。

薬剤師免許は保有しているが、薬剤師として就業していない方の数を把握しているか。

○ （事務局）

調査等は実施しておらず、就業していない方の個々の状況は把握していない。

薬剤師会において、薬剤師として就業していない方を対象とした復職の支援をするための研修会を開催したと伺っている。

○ （相馬委員）

看護師も人材不足の状況で、再就業の研修を開催したことにより、人数は多くはないが復職している方もいる。

若い方の育成と並行して、再就業を検討している方の復職を支援する仕組みがあってもいいのかなと思う。

○ （事務局）

参考にさせていただき、薬剤師の確保に努めていきたい。

○ （畑澤委員）

復職支援の研修会を実施したことがあったが、医療の高度化、医療 DX、ICT の活用など、状況が変化してきており、復職のハードルとなっているという感触を受けた。

エ 医薬品医療機器等法の改正について（資料6）

[質疑・意見等]

特になし

(6) その他

特になし